

日本メンテナンス工業協会会報

IAMSEC

Japan Association of Maintenance and Service Contractors

第**109**号

Vol. 33, No. 2 2023.3

Maintenances for the Future

目 次

【巻頭言】

未来を担う若者にとって、魅力ある業界へ 桑原 武…………… 1

【JAMSEC News】

2023年 賀詞交歓会開催…………… 2

会員各社の動静…………… 7

「メンテナンス・レジリエンスTOKYO2022」・

「メンテナンス・レジリエンスOSAKA2022」 出展報告…………… 8

【特別記事】

「メンテナンス・レジリエンスTOKYO2022」出展企業紹介…………… 10

・旭化成エンジニアリング株式会社…………… 10

・関電プラント株式会社…………… 15

・JFEプラントエンジ株式会社…………… 23

・日揮グループ ブラウンリバーズ株式会社…………… 26

・株式会社高田工業所…………… 30

・レイズネクスト株式会社…………… 34

・株式会社明電エンジニアリング…………… 40

・ワコオ工業株式会社…………… 45

【特集・人材育成】

JAMSECフランジ締結技能講習制度の運用状況

フランジ締結認定講師連絡会リーダー 近藤 康治…………… 49

【特集・プラント業界で活躍するリケジョ】

TAKADAの「みらい」はリケジョが創る!! 株式会社高田工業所 和泉 李佳…………… 52

【随筆】

メンテナンス業務の変遷 JFEプラントエンジ株式会社 白崎 恭資…………… 54

【Coffee Break】

日本百名山ロス 株式会社高田工業所 中野 正大…………… 56

【調査統計】

会員企業概要 1年調査(2021年度データ) 調査統計委員会…………… 58

新型コロナウイルス感染症の影響について 調査統計委員会…………… 60

長時間労働について 調査統計委員会…………… 61

定修時の長時間労働に関するアンケート 法令・規格委員会…………… 68

【事務局より】

工業会ホームページについて ほか…………… 79

日本メンテナンス工業会 会員名簿…………… 80

日本メンテナンス工業会 頒布資料申込書…………… 82

■ 巻頭言 ■



未来を担う若者にとって、魅力ある業界へ

桑原 武

旭化成エンジニアリング株式会社
取締役 プラントC&M事業部長

昨年は、COVID-19、オミクロン株、派生株等、なかなか行動制限が依然として解消されない1年でした。その様な中で、誰もが予想し得なかったロシアのウクライナ軍事侵攻や上海ロックダウン等の物流機能不全、円の急激な乱高下（一時1\$150円超え）等、年初には全く予想すらしていなかった事態が次々におき、会員企業の皆様方におかれても、翻弄され続けた1年であったのではないかと思います。台湾有事も全くの絵空事ではなく現実味を帯びてきました。半導体不足や資材長納期化・高騰が依然として続いており、事業を遂行する上でも大変な障壁となっています。また、日常生活における物価高（インフレ率は2015年以降平均0.5%以下、2022年度は2%を超える予測）、一方でGDPは2020年以降マイナス成長を継続しており、家計に対しても直接的に大きな打撃を受けた一年でもありました。

コロナ禍の中で、私達の「働き方」も大きく変わってきました。既に定着した感のある在宅勤務やリモートを活用したオンライン会議、工事進捗等の管理、工事品質の管理等、IT技術は身近となりDX技術は日々進化しています。将来的な働き手の減少も加味した、発電設備や高圧ガス設備等の法定検査手法として、ドローンの活用等法整備も進んでいます。

この世界情勢の急激な変化の中においても、日本の産業の根幹を支える「メンテナンス」分野においては、“あゆみ”を止める訳にはいきません。当会においては、従来の活動に加え、一昨年より「フランジ締結技能講習制度」を開始。2021年10月には法人化も達成し、昨年に入ってから正会員数として既に100社を大きく超えました。当会に対して、より多くの期待が寄せられてきていると云う事が実

感できます。

昨年2022年は、「壬寅（みずのえとら）」でした。旧来、「新しく立ち上がる事」、「生まれたものが成長する事」と云った縁起の良さを表しています。この一年で社会では新しい仕組みが次々と生まれるとともに、

- 民法改正（成人年齢引き下げ）
- 育児・介護休業法改正（「育休パパ」等）
- 厚生年金保険法・健康保険法改正
- 個人情報保護法改正
- 労働施策総合推進法改正（パワハラ防止義務化）
- 女性活躍推進法改正（行動計画策定公表義務）等、

経済が停滞する中、様々な法律も施行されました。これらの法改正は、会員企業様の経営にも大きな影響を及ぼしたものと思います。

2023年は、翌年2024年4月からの残業上限規制がスタートする為の準備の年となります。その為には、私達の仕事のやり方や働き方そのものを根本的に見直していかなければなりません。世間では、「ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）」と云う言葉が賑わっています。これは、「人材の多様性を高める事だけを目的とするのではなく、その多様な人材が能力を発揮できる組織風土づくりを行う事」であり、この実現に拠り、会社組織はより強靱に、持続的に存続可能になると考えられています。

今後も世の中が急変する事はあっても、社会インフラ、産業の根幹を支える「メンテナンス」分野においては、揺るぎのない組織作りを着実に実行し、その中で、働き方改革やD&I、DX活用促進等の取組を確実に実施する事で、未来を担う若者にとって魅力と夢を与え続けられる業界にしていきたいと思います。